

‘教材研究’

- 『Encuentro con el mundo del español①』の授業の進め方とイラストシートの使い方の考察 -

目的：よりよい授業をするために、テキストの全体的な流れ、課の進め方を考察し、イラストシートの具体的な使い方やアイデアを共有する。

発表の流れ：

- 1) テキストに関連して
- 2) テキスト使用環境
- 3) 一課の流れ
- 4) イラストシート使用例紹介
- 5) グループ毎にイラストシート使用例を考察し、グループ毎に発表
- 6) まとめ

1) テキストに関連して

- ①テキスト選択基準：学生のレベルがわからなかったので、大学側との話し合いのもと決定
2冊で一通りの文法がおさえられる、2発話程度のダイアログ例が多い、
値段、CD付、日本で出版され、日本語での解説がある。
- ②テキストの特徴：日本語訳が書かれている、未習語彙が出てこない、1ダイアログの短さと
例の多さ、CDの話すスピード

2) テキスト使用環境

①クラス背景

第二外国語としてのスペイン語クラスで使用、週2日年間60コマで1冊を終了
1課にかけるコマ数：5～6コマ
クラスサイズ：40人弱
教師：日本人講師1人

②シラバス

基本的にはテキストに忠実に進めているが、先取りした項目あり
テキストの全体的な流れは本冊目次参照
先取り項目：99までの数字、日付と曜日、天気と天候（暗記に時間を要するようなものは早く提出し、徐々に覚えていってもらい、また授業の始めにQAをしている）
11月末現在で8課終了

3) 一課の基本的な流れ

導入

文法部分の説明：テキストでしっかりカバーされ、追記することがほとんどない。未習項目が出てこない。

練習

練習問題：どの練習問題もどの大学生に見合ったもので構成され（実情に即したものが多い）、ストラテジーに頼る部分が少ない。学習ストラテジーがあまり備わっていないような学生にもわかりやすいものが多い。

ミニダイアログ（聞き取りもかねて）：CDのスピードが速く、何度も流して聞いている。
CDやTのリピート→内容確認→再度リピート→全体役割練習→ペアワーク→実情に即した会話→時間があれば発表

課末問題（付録の問題）：クラスによって差あり。動詞の活用表は便利、読み物はできるクラスとそうでないクラスあり。ほぼ宿題として課している。たまに小テストに使用

仕上げ

会話練習：イラストシートなどを使った運用練習

巻末聞き取り問題：ダイアログよりは聞き取りやすい→できるという実感が持て、達成感を味あわせることができる

小テスト：課ごとに出題形式を変えて実施

例) 自己紹介暗記、QA、名詞の意味と性、反意語形容詞ペア、動詞の活用と意味、課末問題を使った和文西訳など

4) イラストシートの使用例

使用したイラストと使い方：

El árbol familiar

Tres señores

Una casa por dentro

En la cafetería

学生の反応：絵で見てわかりやすく、とっつきやすそう。細かな描写がすばらしい

5) グループワーク

6) まとめ

‘教材研究’

- 『Encuentro con el mundo del español①』の授業の進め方とイラストシートの使い方の考察 -

目的：よりよい授業をするために、テキストの全体的な流れ、課の進め方を考察し、イラストシートの具体的な使い方やアイデアを共有する。

発表の流れ

- 1) テキストに関連して
- 2) テキスト使用環境
- 3) 一課の流れ
- 4) イラストシート使用例紹介
- 5) グループワーク
- 6) まとめ

1) テキストに関連して

①テキスト選択基準：

2冊完結

ミニダイアログ例が多い

日本で出版され、日本語の解説がある

値段、CD付

②テキストの特徴：

例文に日本語訳が書かれている

練習問題やダイアログに未習項目、未習語彙が出てこない

1ダイアログの短さと例の多さ

CDの話すスピード

2) テキスト使用環境

①クラス背景

第二外国語としてのスペイン語クラスで使用

週2日年間60コマで1冊を終了

1課にかけるコマ数：5～6コマ

クラスサイズ：40人弱

教師：日本人講師1人

②シラバス

基本的にはテキストに忠実に進めているが、先取りした項目あり

先取り項目：99までの数字、日付と曜日、天気と天候

3) 一課の基本的な流れ

導入

文法部分の説明：テキストでしっかりカバーされ、追記することがほとんどない

練習

練習問題：どの練習問題も大学生に見合ったようなもので構成されている。

ミニダイアログ（聞き取りもかねて）：CDのスピードが速く、何度も流して聞いている。
CDやTのリピート→内容確認→再度リピート→全体役割練習→ペアワーク→実情に即した会話→時間があれば発表

課末問題（付録の問題）：動詞の活用表
読み物の取り扱い

仕上げ

会話練習：イラストシートなどを使った運用練習

巻末聞き取り問題：ダイアログより聞き取りやすい

小テスト：課ごとに出題形式を変えて実施

例) 自己紹介暗記、名詞の意味と性、反意語形容詞ペア、動詞の活用と意味、課末問題を使った和文西訳やQAなど

4) イラストシートの使用例

使用したイラストと使い方：

El árbol familiar

Tres señores

Una casa por dentro

En la cafetería

学生の反応：絵で見てわかりやすそう、細かな描写

5) グループワーク

6) まとめ

‘教材研究’

- 『Encuentro con el mundo del español①』の授業の進め方とイラストシートの使い方の考察 -

目的：よりよい授業をするために、テキストの全体的な流れ、課の進め方を考察し、イラストシートの具体的な使い方やアイデアを共有する。

今回の出席者の中でこのテキストを実際使用しているのは3大学で、8名ほどの方が使用していた。年間30コマの大学では7課までを到達目標としており、60コマの大学では1冊終了が到達目標であった。文法説明と運用練習のペアティーチング（基本的には日本人講師が文法説明をし、ネイティブが運用練習）をしている大学もあった。

1) テキストに関連して

①テキスト選択基準：学生のレベルがわからなかったので、大学側との話し合いのもと決定
大学側の要望としては2冊で一通りの文法がおさえられる（1年で1冊）、2発話程度のダイアログ例が多い、値段、CD付、日本で出版され、日本語での解説があるなどの理由があった。

②テキストの特徴：例文に日本語訳が書かれている、例文や会話例に未習語彙が出てこない（出てくる場合には注釈あり。テキストに出てくる語彙に関しては巻末の語彙表に掲載されている）、1ダイアログの短さと例の多さ、CDの話すスピードがネイティブノーマルスピード（但し学生からは速すぎるとの声あり）

2) テキスト使用環境

①クラス背景

第二外国語としてのスペイン語クラス（2クラス）で使用、週2日年間60コマで1冊を終了
1課にかけるコマ数：5～6コマ

クラスサイズ：40人弱

教師：日本人講師1人

辞書：参考文献に挙げ、自由購入。必要な場合は授業中にインターネットの辞書機能の使用許可を与えている。購入者は2～3割程度。

②シラバス

基本的にはテキストに忠実に進めているが、暗記に時間を要するようなものは早く提出して徐々に覚えていってもらうため、先取りしている。また導入後は授業の始めにQAをしている

先取り項目：99までの数字、日付と曜日、天気と天候

テキスト全体的な流れは本冊目次参照。従来テキストと同じような流れで大まかな項目は以下の通り

文字、発音・アクセント、名詞、指示詞、人称代名詞、ser動詞、形容詞、estar動詞、

hay、直説法現在形（規則活用動詞、不規則活用動詞）

* 11月末現在で8課終了

3) 一課の基本的な流れ

導入

文法部分の説明：テキストでしっかりカバーされ、追記することがほとんどない。未習項目がダイアログや例文、練習問題に出てこない。

練習

① 練習問題：

どの練習問題もどの大学生に見合ったもので構成され（実情に即したものが多い）、ストラテジーに頼る部分が少ない。学習ストラテジーがあまり備わっていないような学生にもわかりやすく、解きやすいものが多い。

② ミニダイアログ（聞き取りもかねて学習）：

CDのスピードが速く、何度も流して聞いているが、何度も聞けばなんとか聞き取れている。以下の流れで実施。

CDやTのリピート→内容確認→再度リピート→全体役割練習→ペアワーク→実情に即した会話→時間があれば発表

③ 課末問題と教師用手引書の付録問題：

ほぼ宿題として課している

クラスによってできる量に差あり

動詞の活用表は便利

読み物は時間的、能力的にできるクラスとそうでないクラスあり

小テストに使用した練習問題あり（和文西訳）

仕上げ

① 会話練習：

教師用手引書やオリジナルのイラストシートなどを使った運用練習

② 巻末聞き取り問題：

ダイアログよりは聞き取りやすい。‘できる’という実感が持て、達成感を味わうことができる。また、さまざまな問題パターンがあり、学生の得手不得手が一極集中せず、このことから達成感が得やすい。

③ 小テスト：

課ごとに出題形式を変えて実施。実施時期は各課最終日。早い段階から実施日を知らせ、場合によっては出題形式や最低限覚えてほしい項目をこちらから指示している。

8課までの出題項目は自己紹介・応答文暗記、QA、名詞の意味と性、反意語形容詞ペア、動詞の活用と意味、課末問題を使った和文西訳など

4) イラストシートの使用例

使用した手引書のイラストと使い方：

☆El árbol familiar：家族名称、職業名の練習

例のイラストシートを参考にし、自分の家系図を作成し、ペアで家族紹介をする。

☆Tres señores, La visita al hospital：形容詞を使った特徴を表現する学習に使用
Como es?を使ってペアでQA

☆Una casa por dentro：所在、存在文の学習

Donde esta~?を使ってペアでQA

テキストに出ている位置を表す語句を使って描写する。書く練習として宿題。

☆En la cafetería：直説法現在規則活用の学習

Que hace~?を使ってペアでQA

学生の反応：絵で見てわかりやすく、とっつきやすそう。細かな描写がすばらしい。

5) グループワーク

ワークショップ参加者を4つのグループに分け、手引書のイラストを使った使用例を考えた。イラストシートの使用例だけでなく、テキストに関して、また、授業の進め方などさまざまな話し合いができた。

イラストシートは原画を参考に他の絵を加えたり、色を足したりして使用するなどの意見が出た。また、使用例でターゲットとなっている項目だけでなく、既習項目をふんだんに使った練習例なども出た。

6) まとめ

イラストシートは使用例どおりに使う必要はなく、アレンジして使う。

この発表を通して、自身の授業を振り返ることができ、また様々な意見が聞け、今後の授業の参考となった。